

ブラウンバッグ・セミナー (BBS)

ニュージーランドの 最低賃金制度と賃金格差

(Minimum wages and wage inequality in New Zealand)

日 時 : 2025. **10.23** (木)
12:40~13:20

場 所 : **リバティタワー1064教室**

使用言語 : **英語**

※ 昼食をご持参ください。



講演 内容

今年度・秋学期に、トップスクールセミナー担当の客員教授として本学政治経済学部にお迎えしているディーン・ヒスロップ氏のブラウンバッグ・セミナーを開催いたします。

現在、日本でも最低賃金政策は大きな注目を集めており、労働政策という枠を超えて政治的な争点となっています。実は、ニュージーランドは世界で初めて最低賃金制度を導入した国です。

そこで、本BBSでは、最低賃金制度の先進国であるニュージーランドの経験と、そこで蓄積されてきた研究成果をヒスロップ氏にご紹介いただきます。

お昼休みの時間帯なので、昼食をご持参のうえ、昼食も兼ねてお気軽に参加してください。

講師

ディーン・ヒスロップ
(Dean R. Hyslop)

ニュージーランド出身の経済学者。

専門分野は、労働経済学、計量経済学。

現在、モトゥ経済・公共政策研究所で上級フェローとして勤務するかたわら、厚生省のアドバイザーを務める。

1995年に米国・プリンストン大学で経済学の博士号を取得後、プリンストン大学やUCLAで教鞭をとった後、ニュージーランド準備銀行、財務省、労働省で勤務。その後、Victoria University of Wellingtonで経済・金融学部の教授として教鞭をとる。

Econometrica, American Economic Review等の経済学分野のトップ・ジャーナル、Journal of Labor Economics, Labor Economics, ILR Review等の労働経済学分野のフィールド・ジャーナルに多数の論文を発表。

2008年には、理論・実証を問わず Econometrica誌に掲載された過去4年間の応用分野における最も優れた論文の執筆者に贈られる Frisch Medal を、2021年のノーベル経済学賞受賞者であるデヴィッド・カード氏と共同受賞。

共 催 : 明治大学政治経済学部経済学科、明治大学EBPM研究センター

問合せ先 : 明治大学EBPM研究センター

代表 : 原ひろみ政治経済学部教授

ebpm_center@meiji.ac.jp